

2026年度 学科別授業科目一覧表（実務経験表記あり）

課程：工業専門課程

学科：

ウェブ・メディア科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
26	企画実践 I	2	30	2	必修	実習	有
27	企画実践 II	2	30	2	必修	実習	有
28	動画編集 II	2	30	2	必修	実習	有
29	HTML/CSSⅢ	2	60	4	必修	実習	有
30	Webプログラミング	2	60	4	必修	実習	有
31	Python	2	60	4	必修	実習	有
32	ローコード開発	2	30	2	必修	実習	有
33	Web詳論	2	60	4	必修	講義	有
34	Webサーバ構築	2	60	4	必修	実習	有
35	前期卒業制作 I II	2	90	6	必修	実習	有
36	後期卒業制作 I II	2	120	8	必修	講義	有
37	Webリテラシ	2	30	2	必修	講義	有
38	デザイン実践 I	2	30	2	必修	講義	有
39	デザイン実践 II	2	30	2	必修	講義	有
40	セキュリティ	2	30	2	必修	講義	有
41	一般常識	2	30	2	必修	講義	無
42	基礎英語	2	30	2	必修	講義	有
43	就職対策 II	2	30	2	必修	講義	有
44	プレゼンテーション II	2	30	2	必修	実習	有
45	体育実習 II	2	30	2	必修	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	企画実践 I		黒澤 純一	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
AIに安易に答えを委ねるのではなく、自ら考え、試行錯誤しながら各種企画に取り組むことで、企画構成力・発想力・伝える力を身につける。最終的には、学園祭での企画出展・作品展示の成功を目的とする。							
【講義概要】							
アイデアを考え、構成し、形にするまでの一連のプロセスを実践的に学習する。そして、実際に学園祭の企画も並行して進めていく。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ガイダンス、企画とは何か？考えることの価値						
2	企画の種を見つける、違和感・課題・興味からの発想						
3	ターゲットと目的の整理の仕方						
4	学園祭企画立案1						
5	学園祭企画立案2						
6	学園祭企画プレゼン						
7	学園祭準備 各種企画ワーク						
8	学園祭準備 各種企画ワーク						
9	学園祭準備 各種企画ワーク						
10	学園祭準備 各種企画ワーク						
11	学園祭準備 各種企画ワーク						
12	学園祭準備 各種企画ワーク						
13	学園祭準備 各種企画ワーク						
14	課題制作						
15	課題制作						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	40%		40%	20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
講義内容に沿ったテキストの配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	企画実践Ⅱ		黒澤 純一	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
AIに安易に答えを委ねるのではなく、自ら考え、試行錯誤しながら各種企画に取り組むことで、企画構成力・発想力・伝える力を身につける。最終的には、卒業・進級制作展示会の成功を目的とする。							
【講義概要】							
アイデアを考え、構成し、形にするまでの一連のプロセスを実践的に学習する。そして、実際に卒業・進級制作展示会の企画も並行して進めていく。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	展示会企画立案1 展示会の概要・目的理解						
2	展示会企画立案2 来場者種別・ターゲットと目的の整理						
3	展示会企画プレゼンテーション 企画を言語化し、他者に伝える						
4	展示会準備 各種企画ワーク						
5	展示会準備 各種企画ワーク						
6	展示会準備 各種企画ワーク						
7	展示会準備 各種企画ワーク						
8	展示会準備 各種企画ワーク						
9	展示会準備 各種企画ワーク						
10	展示会準備 各種企画ワーク						
11	展示会準備 各種企画ワーク						
12	展示会準備 各種企画ワーク						
13	展示会準備 各種企画ワーク						
14	課題制作						
15	課題制作						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	40%		40%	20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
講義内容に沿ったテキストの配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2026	2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	実習	動画編集Ⅱ	黒澤 純一	有
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

Web・YouTube・映画・TV・ゲーム・アニメなど、様々な動画/映像コンテンツ制作に利用できるAdobe Premiere Pro、After Effectsの技術を習得する。また、動画編集Ⅰ、Ⅱを通してアニメーション素材の制作+Web上での動画/映像表現（CSS/JS・GSAP・Lottie・3D系ライブラリ など）を学習し、自分の作品に活用できる力を養う。

【講義概要】

Adobe Premiere ProおよびAfter Effectsを用いた動画編集・アニメーション制作の応用技術を学ぶ。Web制作におけるアニメーション表現や関連技術を学習し、Webページの制作実践を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ガイダンス
2	Premiere Pro 応用①
3	Premiere Pro 応用②
4	After Effects 応用①
5	After Effects 応用②
6	Webアニメーション演習①
7	Webアニメーション演習②
8	Webアニメーション演習③
9	アニメーションを活用したWebサイト制作課題（企画概要）
10	続き 設計
11	続き 制作
12	続き 制作
13	作品プレゼン・まとめ
14	課題制作
15	課題制作

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	HTML/CSSⅢ		山田 忍	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
クライアントからの要望、仕様書に沿ったウェブサイトのコーディングができるようになる。サイト制作にあたって様々なツールも使いこなせるようになる。							
【講義概要】							
ルールに則ったHTMLとCSS, JavaScriptの書き方を学ぶ。各回では課題制作を提出すること。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	JavaScriptライブラリ・フレームワークを学ぶ						
2	JavaScriptライブラリ・フレームワークを学ぶ						
3	JavaScriptライブラリ・フレームワークを学ぶ						
4	JavaScriptライブラリ・フレームワークを学ぶ						
5	JavaScriptライブラリ・フレームワークを学ぶ						
6	JavaScriptライブラリ・フレームワークを学ぶ						
7	JavaScriptライブラリ・フレームワークを学ぶ						
8	JavaScriptライブラリ・フレームワークを学ぶ						
9	JavaScriptライブラリ・フレームワークを学ぶ						
10	JavaScriptライブラリ・フレームワークを学ぶ						
11	仕様書からサイト制作						
12	仕様書からサイト制作						
13	仕様書からサイト制作						
14	総合演習						
15	総合演習						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%		20%	20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
大学院にてコミュニケーションデザイン/グラフィックデザインについて研究。 専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事☑							
【教科書・参考文献】							
これからはじめるReact実践入門、オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	Webプログラミング		国井 和昭	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
PHPを利用したWEBアプリケーション構築技術を身に付ける。							
【講義概要】							
単純な技術にとどまらず、Webアプリケーションを構築する上でのPHP（サーバーサイド）の仕事の役割を正しく把握する。また、プロジェクトの中で一人のエンジニアとして仕事を任せられ、遂行できる人材となることを目的とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	phpの実行環境を整える。サーバーとプログラムの関係や概念をしり、PHPの基本的な記述方法を知る。基本的な四則演算の記述を学ぶ						
2	画像を表示するサイコロを作りPHPとHTMLの連携方法をしる。配列を使いランダムメッセージを出すプログラムをつくる						
3	フォームから受けたデータをPHPで処理する方法を知る。ファイルへのデータ保存方法をしり、カウンターをつくる。もう一度、イベント型プログラムとの違いを知る						
4	カウンターを少しだけ改編し、チャットプログラムをつくる。テキストで名前、時間、メッセージとデータを分割して保存、読み込み出来るようにする。						
5	エラー表示を実装する。未入力のほか正規表現の概念と使い方をしり、NGワード処理をつける						
6	データベースの用途とPHPmyAdminの使い方をしる						
7	チャットプログラムをデータベースに改造する。						
8	削除機能をつける。本当にDELETEする場合、印をつけて見えない様にする場合それぞれの利点や問題点について考える						
9	画像のアップロード方法を知り、画像掲示板を作成する。画像サイズ変更機能をつける						
10	データの引き継ぎ方を知り、セッションを使う。post時のリロードエラーを防ぐ方法を学ぶ						
11	ページ切り替えとソートについて実装していく						
12	アンケートフォームをつくる。入力、確認、完了の3ページ。htmlを分離、簡易的なテンプレートの様に使い概念をしる。						
13	アンケートフォームで入力されたデータはデータベースに保存し、メールで受付通知を返すようにする						
14	授業の振り返り。まとめなど1						
15	授業の振り返り。まとめなど2						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	30%			70%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
PCゲーム、ガラケー用ゲームなどのディレクターを経て、現在では、Webアプリ、スマホアプリの開発などを行っています。							
【教科書・参考文献】							
公式リファレンスほか							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	Python		国井 和昭	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Pythonの動作環境が自分で作れる 各種ライブラリのインストール方法知る AI処理の一端をしり、							
【講義概要】							
Pythonの環境作り、基礎文法から各種ライブラリを使ったAI処理の基礎を学ぶ							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Pythonのインストール、仮想環境の作り方						
2	Pythonの基礎文法						
3	pipをつかったライブラリのインストール方法をしる						
4	opencvをインストールし、基本的な画像処理をためす						
5	別の顔認識を使い、犯人捜しのようなプログラムをつくる						
6	認識した顔を四角形で切り取り別の顔と入れ替えてみる						
7	Whisperをインストールし、オフラインでの音声文字起こしを行う						
8	pyttsx3をインストールし、テキストを読み上げる						
9	all4gptをインストールし、オフラインでLLMを動かす						
10	whisper、pyttsx3、all4gptを連携し、音声で対話できるようにする						
11	tensorflowでmnistの学習と分類をおこなう						
12	自分で用意した画像を利用し、精度を上げる方法を検討する						
13	テキストデータを解析しネガティブとポジティブに振り分ける(英語、日本語)						
14	授業の振り返り、まとめなど1						
15	授業の振り返り、まとめなど2						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	
割合	30%			70%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
【教員紹介】							
PCゲーム、ガラケー用ゲームなどのディレクターを経て、現在では、Webアプリ、スマホアプリの開発などを行っています。							
【教科書・参考文献】							
リファレンス等							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	ローコード開発		榎本 博文	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
WebアプリケーションやWebサイトを効率的に開発できる「ノーコード・ローコード」ツールを学ぶ。主要ツールの操作方法を習得するとともに、Webデザインや開発の基礎知識を生かしながらプロジェクトを進める力を養う。また、チーム開発や業務効率化を意識した課題に取り組むことで、実務で求められるスキルを習得する。							
【講義概要】							
サイボウズ社のノーコード・ローコードツール「kintone」や「WordPress」を活用し、アプリケーション開発の実践的な演習を行います。就職活動相談アプリ、顧客管理アプリ、交通費申請アプリなど、実務で活用可能なアプリの作成を予定。業務効率化や課題解決を目的としたアプリケーションの企画・開発スキルを習得します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	DX、ノーコード・ローコード開発とは、kintoneの概要、kintoneへのログイン確認						
2	kintoneを使ったはじめてのアプリ作成、操作体験						
3	Excelデータをインポートして作るアプリ						
4	テーブル機能を利用したアプリ作成						
5	複数アプリの連携演習						
6	複数アプリの連携演習						
7	総合演習						
8	グラフと集計機能						
9	プロセス管理（備品購入申請・交通費申請など）						
10	アクセス権の設定、スペース活用（基礎）						
11	WordPressの基本操作を理解する。CMS（コンテンツマネジメントシステム）とは						
12	ウェブサイトのデザイン・構築・公開スキルを習得する						
13	プラグインやテーマを活用して機能を拡張する方法を学ぶ						
14	実務での活用を想定した運用方法を身につける グループワークなど						
15	総合演習						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%			20%		100%	
(補足)	挙手、発表等の積極的な授業参加には別途大きく加点する。 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。						
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
専門学校・大学向け授業用ガイドブック kintone入門編（サイボウズ株式会社）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	Web詳論		榎本 博文	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Webクリエイターとして必要な企画立案力・情報整理力・設計力を身につけ、ターゲットや目的を意識したウェブサイト企画を立案できるようになることを目標とする。また、企画内容をWebサイトとして具体化するための基礎的な表現力を養う。																					
【講義概要】																					
本授業では、Webサイト制作を「作ること」よりもなぜ作るのか／誰に向けて作るのか／何を伝えるのかという企画視点から捉える。ターゲット設定、目的整理、情報設計、構成設計を中心に、企画内容をWebページとして表現する一連の流れを実践的に学習する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ガイダンス（授業目的・Web制作における「企画」の役割）																				
2	Webサイトの目的整理（情報発信・集客・ブランディング等）																				
3	ターゲット設定（ペルソナの考え方）																				
4	競合・参考サイト分析																				
5	コンテンツ企画（掲載内容の洗い出し）																				
6	情報設計①（サイトマップ作成）																				
7	情報設計②（ページ構成・導線設計）																				
8	中間レビュー①（企画内容の共有・フィードバック）																				
9	ワイヤーフレーム作成																				
10	デザイン方針策定（トーン&マナー・配色・レイアウト）																				
11	表現方法検討（テキスト・画像・動きの使い分け）																				
12	企画内容のWeb実装（最低限のHTML/CSSによる可視化）																				
13	改善検討（ユーザー視点での見直し）																				
14	企画最終調整・発表準備																				
15	企画発表・講評・振り返り																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td></td><td>10%</td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%		10%	40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%		10%	40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	Webサーバ構築		国井 和昭	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Linuxの使用法を知り、サーバーとして利用する場合の設定などを理解する																					
【講義概要】																					
Macの仮想化ソフトUTMを使い、Linuxをインストールするところから学ぶ。その際、OSやブートローダ、BIOSの仕組みなども知る。CUIを怖がらずに使用できるよう、基本的な操作や、ファイル作成管理やパーミッション、プログラムのインストールなどを実際にコマンドを打ちながら理解していく。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	必要なファイルをダウンロードし、インストールする。																				
2	OSがどのようなものか、どうやって起動するかを知る。Linuxがどんなものか、どのような配布方法があるかを知る。																				
3	Linuxのファイルシステム、パーミッションなどについて知る。CUIを使う上での知識を知る。																				
4	よく使うコマンドを使って、ファイルリストの確認、ファイルの新規作成、テキストファイルの表示、パイプ機能、実行結果のリダイレクトなどの操作を覚える																				
5	よく使うコマンドを使って、アーカイブファイルの作成、ファイルの検索、コマンド履歴の表示、テキスト検索などの操作を覚える																				
6	よく使うコマンドを使って、テキストファイルの一部抜き出し、連番数字の書き出し、テキスト行のシャッフル、ソート、重複削除、文字の置き換え、ランダム表示などの操作を覚える																				
7	よく使うコマンドを使って、どんなプロセスが実行されているかの表示、フォアグラウンドとバックグラウンドの切り替え、プログラムの終了などの操作を覚える																				
8	よく使うコマンドを使って、ユーザーやグループの管理方法、リンクファイル、エイリアス、テキストエディタ、Linuxでありがちな設定ファイルの変更方法などを覚える																				
9	シェルスクリプトの仕組みを知り、簡単なスクリプトを作成実行する。その際、パラメータやキーボード入力の受け取り方を知る。																				
10	gccをインストールし、その場でcプログラム作成、コンパイルし動かす方法を知る。																				
11	firewallとポートフォワードについて知り、LinuxやUTMに設定をする。sshでの接続方法、ファイルの転送方法についても知る。																				
12	パッケージマネージャを使いapacheをインストールする。転送したhtmlを公開フォルダに置き、ローカルのブラウザから確認する。																				
13	パッケージマネージャではなく、プログラムをソースからインストールする方法を知る。その際、インストール済みライブラリであっても、コンパイルに必要なライブラリがあり、それが別途配布されていることを覚える。																				
14	授業の振り返り、まとめなど1																				
15	授業の振り返り、まとめなど2																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他 ()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>30%</td> <td></td> <td></td> <td>70%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	30%			70%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	30%			70%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
PCゲーム、ガラケー用ゲームなどのディレクターを経て、現在では、Webアプリ、スマホアプリの開発などを行っています。																					
【教科書・参考文献】																					
公式リファレンスほか																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	前期卒業制作 I II		榎本 博文	有	6単位 90時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
2年間の学びの集大成として作品制作を行う。 制作は個人・グループで行う。学内外へ向けた成果発表を行うことをゴールとする。							
【講義概要】							
企画作成から制作、テスト、発表まで一貫して行う。教員によるレビューを挟み作品のクオリティアップを目指す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	本講義のガイダンス、企画概要						
2	企画作成、レビュー						
3	企画発表						
4	作品制作、レビュー						
5	作品制作、レビュー						
6	中間成果発表						
7	作品制作、レビュー						
8	作品制作、レビュー						
9	中間成果発表						
10	作品制作、レビュー						
11	作品制作、レビュー						
12	作品制作、レビュー						
13	作品制作、レビュー						
14	作品制作、レビュー						
15	完成発表						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%			20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
-							

[ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース]

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	後期卒業制作ⅠⅡ		榎本 博文	有	8単位 120時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
プロフェッショナルなウェブ開発者として成長するための実践的なコースです。個別のプロジェクトを進めながら、フロントエンドおよびバックエンドの開発スキルを向上させ、チームワークとプロジェクト管理の能力を磨きます。																					
【講義概要】																					
ウェブページ制作やデザインの授業で学んだ基礎的な項目を元にポートフォリオを作成やグループワークなどの課題を制作する。3月に展示会があるため、就職活動を意識した制作物をポートフォリオに掲載する																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	進級制作についての概要説明と目標説明に関して																				
2	プロジェクトのスコープと要件の明確化																				
3	HTML、CSS、JavaScriptの基礎のおさらいと、データベースの利用																				
4	チームでのプロジェクト発表 その1																				
5	チームでのプロジェクト発表 その2																				
6	成果発表とフィードバック																				
7	チームでのプロジェクト発表 その3																				
8	チームでのプロジェクト発表 その4																				
9	成果発表とフィードバック																				
10	チームでのプロジェクト発表 その5																				
11	チームでのプロジェクト発表 その6																				
12	成果発表とフィードバック																				
13	チームでのプロジェクト発表 その7																				
14	チームでのプロジェクト発表 その8																				
15	成果発表とフィードバック																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td></td><td>10%</td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%		10%	40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%		10%	40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2026		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	Webリテラシ	山田 忍	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ユーザー視点を基にウェブ企画・情報設計・ビジュアル設計を学び、要件定義、スケジュール管理、チーム連携の手法やユーザー行動の分析など実践的スキルを習得する。

【講義概要】

ウェブサイトを企画・ディレクションする上で必要な基本知識（戦略・調査・情報設計・ビジュアル設計・実装管理）について講義。調査 → 設計 → 制作 → 検証のサイクルに沿って解説し、ミニワークで手を動かしながら理解を深める。コミュニケーションデザインの理論を踏まえ、ユーザー・クライアント双方のゴールを達成する説得力ある提案・進行管理を行える人材を育成する。

回	授業計画及び学習の内容
1	コミュニケーションデザインの考え方
2	コミュニケーションデザインの考え方
3	コミュニケーションデザインの考え方
4	コミュニケーションデザインの考え方
5	ウェブディレクション プロジェクトマネジメント
6	ウェブディレクション ウェブマーケティング
7	中間試験
8	ウェブディレクション アクセス解析
9	ウェブディレクション ユーザテスト
10	ウェブディレクション 課題制作
11	ウェブディレクション 課題制作
12	ウェブディレクション 課題制作
13	ウェブディレクション 課題制作
14	ウェブディレクション 課題制作
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		60%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

大学院にてコミュニケーションデザイン/グラフィックデザインについて研究。
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事☒

【教科書・参考文献】

オリジナル教材

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2026	2年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	デザイン実践 I	福屋 貞行	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

本授業では、1年次に「デザイン基礎」の授業で学んだデザインの知識やスキルを、実践的な課題に応用し、実務レベルのデザイン力を身につけることを目的とする。デザインコンセプトの策定から制作、プレゼンテーションまでの一連のプロセスを学ぶ。個人・チームでの制作プロセスを理解し、デザインの意図を論理的に説明出来るようにする。

【講義概要】

トレンドや技術を取り入れたデザインを作成し実際のクライアント案件を想定したデザイン制作ができるよう学んでゆく。課題について、講師・学生同士でフィードバックを行う。制作物は学園祭にて展示を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	コンテスト課題など個人講評 作品提出直前講評
2	デザインの応用とは何か。デザインコンセプトの考え方とターゲット分析について
3	作品制作（個人） 講評、個別指導を交えながら制作を進める
4	課題のフィードバック、方向性の確認など
5	プレ講評（最終調整）
6	個人発表、評価と振り返りなど
7	中間試験
8	作品制作（チーム制作） 講評、個別指導を交えながら制作を進める
9	作品制作（チーム制作） 講評、個別指導を交えながら制作を進める
10	作品制作（チーム制作） 講評、個別指導を交えながら制作を進める
11	課題のフィードバック、方向性の確認など
12	プレ講評（最終調整）
13	チーム発表、評価と振り返りなど1
14	チーム発表、評価と振り返りなど2
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		10%	30%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

現在はIT企業の制作部門で、制作からマネジメントに従事しております。よろしくお願いたします。

【教科書・参考文献】

配布資料など

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	デザイン実践Ⅱ		福屋 貞行	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
前期「デザイン応用」の授業で学んだ知識を元により洗練された表現力と説得力を身につける。 また、個人およびチームでの制作を通じて、戦略的なデザイン思考を鍛え、コンセプトの明確化・視覚的表現・論理的な説明能力を総合的に強化する。実務レベルの課題に取り組むことで、即戦力として活躍できるスキルを習得する。																					
【講義概要】																					
最新のデザイントレンドやUI/UXの考え方、マーケティング視点を取り入れ、デザインの効果を最大化する方法についても学ぶ。最終的には、ポートフォリオに掲載可能なクオリティの作品を制作し、即戦力として活躍できる実践力を養う。制作物は卒業制作展示会にて発表を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	コンテスト課題など個人講評 作品提出直前講評																				
2	デザインの応用とは何か。デザインコンセプトの考え方とターゲット分析について																				
3	作品制作（個人） 講評、個別指導を交えながら制作を進める																				
4	課題のフィードバック、方向性の確認など																				
5	プレ講評（最終調整）																				
6	個人発表、評価と振り返りなど																				
7	中間試験																				
8	作品制作（チーム制作） 講評、個別指導を交えながら制作を進める																				
9	作品制作（チーム制作） 講評、個別指導を交えながら制作を進める																				
10	作品制作（チーム制作） 講評、個別指導を交えながら制作を進める																				
11	課題のフィードバック、方向性の確認など																				
12	プレ講評（最終調整）																				
13	チーム発表、評価と振り返りなど1																				
14	チーム発表、評価と振り返りなど2																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td>10%</td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		10%	30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%		10%	30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
現在はIT企業の制作部門で、制作からマネジメントに従事しております。 よろしくお願いいたします。																					
【教科書・参考文献】																					
配布資料など																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	セキュリティ		小泉 真理子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報セキュリティマネジメント試験の合格を目指す							
【講義概要】							
過去問演習を通して合格に必要な力を身に着ける							
回	授業計画及び学習の内容						
1	過去問科目A演習						
2	過去問科目A演習						
3	過去問科目A演習						
4	過去問科目A演習						
5	過去問科目A演習						
6	過去問科目A演習						
7	中間試験						
8	過去問科目A演習						
9	過去問科目A演習						
10	過去問科目A演習						
11	過去問科目B演習						
12	過去問科目B演習						
13	過去問科目B演習						
14	過去問科目B演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	50%		40%	10%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、ITサービスマネージャ試験など。							
【教科書・参考文献】							
IT戦略とマネジメント（インフォテックサーブ） 図解即戦力 PMBOK第7版の知識と手法がこれ1冊でしっかりわかる教科書（技術評論社）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	一般常識		氏原 真代	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
就職試験（一般常識・SPIなど）対策として、基礎学力を身につけさせる事を目的とする。																					
【講義概要】																					
一般常識・SPIの問題を扱うことで、問題に慣れ、的確に解答できるようにする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	漢字・熟語・類義語・対義語																				
2	四字熟語・故事成語・ことわざ・慣用句																				
3	計算の基礎・式の展開と因数分解																				
4	割合・損益算																				
5	文章題（1）																				
6	前半まとめ 演習問題																				
7	中間試験																				
8	語の関係・語句																				
9	関数とグラフ・方程式と不等式																				
10	不等式と領域・n進法																				
11	場合の数と確率・集合																				
12	図表・資料の読み取り																				
13	文章題（2）																				
14	後半まとめ 演習問題																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当																					
【教科書・参考文献】																					
授業時にプリント配布・抗議の際に紹介																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	基礎英語		酒井 智子	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。																					
【講義概要】																					
各回とも、精選した重要な文法事項を理解し、用法のマスターを目指す。身近で興味深い題材を用い楽しみながら語彙を増やして即戦力となる基盤を築きたい。積極的な取り組みによる成果を得ることで日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	オリエンテーション、5文型8品詞																				
2	自動詞・他動詞、There is ～構文																				
3	不定詞の名詞的用法、It is ～ to (do)構文																				
4	動名詞																				
5	不定詞の形容詞・副詞的用法																				
6	受動態																				
7	中間試験																				
8	分詞の形容詞的用法、長文読解 "The Steve Jobs Story"																				
9	接続詞（等位接続詞）																				
10	接続詞（従属接続詞）①																				
11	接続詞（従属接続詞）②																				
12	関係代名詞①																				
13	関係代名詞②																				
14	関係副詞																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>90%</td> <td>3%</td> <td>5%</td> <td>2%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	90%	3%	5%	2%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	90%	3%	5%	2%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
高校教師（4年）、外資系企業の秘書（5年）、医療系大学で薬学部非常勤講師の経験（2年半）あり。 取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)																					
【教科書・参考文献】																					
【参考文献】 The Steve Jobs Story (IBCパブリッシング)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ		榎本 博文	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>実践的な就職活動スキルを身につけ、企業選択・応募・面接を主体的に行える力を養う。 業界・企業研究を深めるとともに、履歴書・エントリーシート・面接・グループディスカッションなどの選考対策を 実践形式で学び、内定獲得に向けた行動計画を立てられるようにする。</p>							
【講義概要】							
<p>就職対策Ⅰで行った自己分析を基に、企業研究・応募書類作成・面接対策・グループ選考対策を中心とした実践的 な就職活動準備を行う。模擬面接・模擬グループディスカッション・プレゼンテーションを通じて、企業に「伝わ る」表現力と行動力を身につける。</p>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	就職対策Ⅱの目的理解、自己分析の再確認、就活の現在地を整理する						
2	IT業界・Web業界の動向、企業規模別の特徴、成長企業の見極め方						
3	企業HP・IR情報・採用情報の読み解き方、企業比較ワーク						
4	就活軸の言語化、志望順位の考え方、ミスマッチを防ぐ視点						
5	学歴・資格・志望動機の基本、NG例と改善ポイント						
6	個別・グループでの相互添削、完成度向上						
7	中間試験						
8	エントリーシート対策① 設問意図の理解、企業が見ているポイント						
9	エントリーシート対策② 自己PR・ガクチカの構成、ストーリー化						
10	自己紹介・志望動機・強み弱みの伝え方						
11	深掘り質問への対応力、質問力を磨く						
12	グループディスカッション実践：入退室・話し方・態度を含めた実践練習とフィードバック						
13	役割理解、評価される行動、振り返り						
14	内定後・社会人準備：内定後の流れ、ビジネスマナー、社会人としての心構え						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	50%		10%	40%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
就活スタートガイド SUCCESS							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2026		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	プレゼンテーションⅡ	黒澤 くみこ	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- 社会人としての総合力が問われる「プレゼンテーション」を学ぶことにより、社会人としての総合力を身に付ける
- 社会人として活動することへの意識を高め、組織の中で求められるコミュニケーション力の習得
- 社会人基礎力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）を身に付ける
- それらを就職活動に活かす

【講義概要】

社会人として求められる力について理解した上で、それを行動に移せるような「知識」と「スキル」と身に付けていただきます。講義と実習、グループワークを通じて社会人になるための準備し、それを通じて成長していただきます。

回	授業計画及び学習の内容
1	プレゼンテーションⅡのガイダンス、スピーチ（Ⅱに向けての抱負30秒スピーチ）自己チェック「自分を知る」
2	スピーチ「自己紹介」準備、自己紹介&相互コメント
3	スピーチ「自己紹介」発表
4	説明力：スピーチ「〇〇の大切さを分からせる」準備
5	説明力：スピーチ「〇〇の大切さを分からせる」発表
6	表現力：スピーチ「心に残った〇〇」準備
7	表現力：スピーチ「心に残った〇〇」発表
8	ここまでのまとめ
9	自己PRについて、考察と準備
10	自己PRについて、考察と準備、グループ内発表
11	「自己PR」発表、ビデオ撮影、振り返り、個別コメント
12	グループワーク「説得の要件」発表、プレゼンテーションについてのまとめ
13	グループワーク「コンセンサスの取り付け」、アサーティブコミュニケーション
14	後期のまとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		10%	30%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

1988年、有限会社シービー設立
 35年間に亘り企業における人材育成（コミュニケーションに重点を置いた研修）に携わる
 1989年より東京電子専門学校にて、情報系の授業を担当（ビジネスマナー、表現技法、プレゼンテーション、）
 著書「営業マンはお辞儀をするな」

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったプリントの配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2026	2年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ	ウェブ・メディア科 担当教員	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1日目、2日目）
6	
7	
8	学園祭（1日目）
9	
10	
11	学園祭（2日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-
